

～2017年度（平成29年度）のアメリカ研修の様子です～

2017 アメリカ研修（12月14日～22日）

国際人文科2年生のアメリカ研修はカリフォルニア州ロサンゼルスから始まり、州東部のヘスペリア市でのホームステイを中心に行われました。ここにその様子をご紹介します。

>>Day 1

ロサンゼルス空港 → UCLAキャンパスツアー → ホストファミリーと対面



ロサンゼルス空港に到着後、UCLA（カリフォルニア大学ロサンゼルス校）に移動し、キャンパスツアーに参加しました。広大な敷地と学生の多さに驚きます。敷地内にはいくつも図書館があり、多くの学生が勉強に励んでいました。学生生活はなかなか大変そうです。案内をしてくれた学生の中には日本人留学生もいて、自分たちと同じ日本人が話すかなり流暢な英語に、とても刺激を受けたようです。

夜になって、ホストファミリーと対面。待ち合わせ場所に近づくと、緊張が高まります。それぞれの名前が書かれた大きなウェルカムボードを持ったホストファミリーが待ち受ける会場に到着すると、早速交流が始まり、それぞれの家庭に分かれていきました。各家庭で様々な体験をしましょう。頑張れ、市松生！

>>Day 2

高校訪問 → 小学校訪問



ホストファミリー宅で一晩を過ごし、2日目は現地の高校（Excelsior High School）と小学校（Lucerne Valley Elementary）を訪問しました。高校では、生徒一人ひとりに現地の担当生徒（Buddy）が付いて、彼らの授業と一緒に参加しました。昼休みまで一緒に過ごし、ランチを食べたり、食後の自由時間に一緒に運動したりして、交流を深めました。

小学校では、市松生2～3名ずつがそれぞれの教室へ行き、元気一杯の小学生20名程度を相手に折り紙の折り方を教えました。もちろん全て英語で教えます。苦労しながらも、身振り手振りを交えたり、実際に折って見せたりしながら、頑張りました。鶴や手裏剣がとても人気で、小学生達はとても楽しんでくれたようです。別れを惜しむ小学生たちに後ろ髪を引かれながら、ホストファミリーと交流するため小学校を後にしました。とても貴重な体験ができました。

>>Day 3, Day 4

ホストファミリーとの週末



3日目、4日目は土日です。それぞれの家庭で週末を過ごしました。釣りに出かけたり、ショッピングに出かけたり、家庭でお手伝いをしたり、様々な体験をしてきました。言葉も違う、習慣も違う家族とともに過ごした週末は、良い学びとなり、良い思い出となったことでしょう。

>>Day 5

高校訪問② → フェアウェルパーティー



ホストファミリー宅でそれぞれの週末を過ごして迎えた月曜日は、現地の高校（Serrano High School）を訪問しました。生徒一人ひとりにBuddyがついて、1日彼らの授業と一緒に参加します。ランチタイムには、日本で一生懸命準備して来たパフォーマンスを披露。Serrano High Schoolの生徒達も、とても喜んでくれました。

夜は、ホストファミリーとのフェアウェルパーティーです。お世話になった家族の皆さんと、食事をしたりお話をしたり、最後の時間を過ごしました。市松生からは、日中高校でも披露したパフォーマンス（完全版）を披露。全員での合唱や、小グループに分かれての日本文化の紹介など、日本で準備してきたことを100パーセント出し切れたのではないかと思います。感謝の気持ちを表現し、ホストファミリーの皆さんも、本当に喜んでくれていました。ここまでの5日間での、市松生の成長を感じられる時間でした。

>>Day 6

ホームステイ先 → グランドキャニオン



6日目は、朝早くから集合し、ホストファミリーとのお別れです。また再会できることを願っています。その後、バスで約8時間かけてグランドキャニオンまで移動しました。この日は夕日を見に、グランドキャニオンを登りました。日本ではなかなか見ることのできない、壮大なスケールの景色に圧倒され、大自然を肌で感じてきました。

>>Day 7

グランドキャニオン → セリグマン (Route 66) → ラスベガス



7日目は、グランドキャニオンの朝日を見ることから始まりました。寒い中、日の出を待つ生徒たちからは、朝日を楽しみにしているワクワク感が伝わってきます。朝日を見た後は、バスでラスベガスに向かいました。途中フーバーダムを車窓から眺め、砂漠の中にあるエンターテイメント都市が水力発電によって成り立っていることを実感します。アメリカ西部の発展を促進した重要な国道であり、映画「カーズ」の舞台にもなったRoute 66では、高速道路の発達により廃線となりながらも、今もなおその魅力を伝え続けるセリグマンを訪れ、アメリカの歴史の一部を直に感じる事ができました。ラスベガスでは、街の煌びやかさに驚きつつ、街を散策したり、ショーを見たりしました。

>>Day 8, Day 9

ラスベガス → ロサンゼルス空港 → 帰国



最終日は、早朝出発で帰路につきます。空港の中にもカジノのロットがあるラスベガス空港に朝から驚きつつ、ロサンゼルス空港を経由して成田空港に向かいました。思い出話で盛り上がり、アメリカ研修の余韻に浸りながら機内を過ごして、成田空港に到着。全員無事に帰国し、充実したアメリカ研修を振り返り、達成感でいっぱいだったことでしょう。



この研修で学んだことを今度は発信していきます。今年も、河原塚中学校の生徒さんたちに向けて、報告会を予定しています。こうした経験を通して、生徒自身が学び、経験したことを活かし、グローバル教育を実践していくこととなります。